

## 教科目名 情報リテラシー (Information Literacy)

学科名・学年 : 機械工学科 2年

単位数など : 必修 1単位 (後期 1コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 山本通

授業の概要			
現代の情報化社会において、コンピュータ操作やコンピュータを使った情報処理・伝達技術は、技術者には不可欠な技量になっている。情報リテラシーでは、Windows7 環境におけるパソコンの基本操作や電子メールの使い方から Microsoft Office を使った表計算やグラフ表示、PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成および発表技術を身に付ける。			
達成目標と評価方法			大分高専目標 (B2)
(1) 情報化社会の成り立ちを理解し、インターネットの概念を理解できる。(課題演習)			
(2) マナーに配慮した電子メールの使い方を理解し、メールを使ったコミュニケーションができる。(課題演習)			
(3) Excel を用いて表計算やグラフの作成ができる。(課題演習)			
(4) PowerPoint を用いてプレゼンテーションの作成および発表ができる。(課題演習)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	情報化社会の成り立ち コンピュータの基本操作 電子メールの操作方法	○ガイダンス, メール設定	【理解の度合い】
2 3 4 5 6 7 8	Microsoft Excel について	○基本操作を習得する。 ○数式や関数を利用できる。 ○グラフが作成できる。 ○Excel VBA の使い方を学ぶ。 ○総合演習	【理解の度合い】
9 10 11 12 13 14 15	Microsoft Excel について Microsoft PowerPoint について	○NC プログラムのテキスト出力ができる。 ○基本操作を習得する。 ○発表資料の編集方法を学ぶ。 ○プレゼンテーションの行い方を学ぶ。 ○2人1組で5分間の発表を行う。 ・テーマ決定 ・資料作成 ・発表練習 ・発表&質疑応答	【理解の度合い】
履修上の注意	電子メールや表計算、資料発表に関する知識は一般常識となっています。自分たちの将来を見据えて、卒業研究や就職、進学に向けたスキルアップをしてください。 試験期間中の授業(2回分)は別途補講日等に実施します。		【総合達成度】
教科書	高橋参吉, 松永公廣ほか「入門 情報リテラシー」コロナ社		
参考図書	なし		
自学上の注意	ブラインドタッチの練習は各自で行い、修得しておくこと。		
関連科目	情報工学 I, 情報工学 II, 卒業研究		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について、各授業で課す課題演習(80%)と授業態度(20%)を100点満点で評価し、60点以上を合格とする。 ※再試験・追試験等は実施しない。		【総合評価】 点